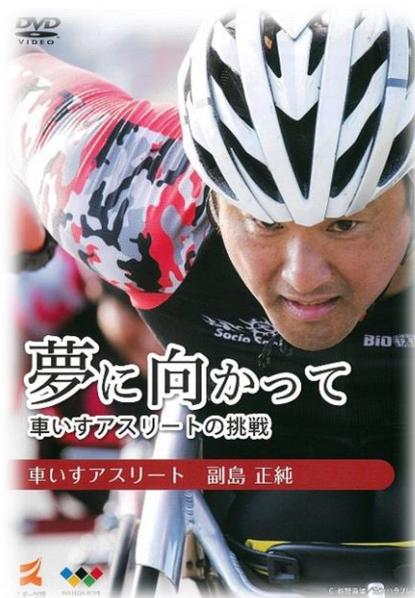


事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 岐阜県 】

1 実践テーマ	【 Ⅲ 】
2 実施対象者	土岐市立泉中学校 全校生徒462名 希望保護者8名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (講演会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	パラリンピック選手の講演を聞くことで、ひびき合い週間のスタートを切る。そのため、車いすで生活するだけでなく、スポーツ選手として活躍する田中照代氏の話聞くことで、人権学習としての学びを深める。
5 取組内容	<p>■事前学習</p> <p>朝の会前の20分間2回を使い、全校放送でプレゼンテーションソフトを使って、事前学習を行った。</p> <p>内容としては、障がい者スポーツをする人の思いを知るために、車いすアスリートの副島正純さんの「夢に向かって～車いすアスリートの挑戦～」のDVDを鑑賞したり、講演会の講師になる田中照代氏の最近の大会結果などについて学習したりした。</p>



■講演会

- (1) 日時 平成30年10月23日(火) 6時間目
(2) 講師 田中照代 氏
アトランタパラリンピック 金メダル
シドニーパラリンピック 銀メダル
北京パラリンピック 銅メダル
(3) 内容 「私の生きる道」
・大会の様子
・講話
・車いす体験
・メダル披露



6 主な成果

■生徒の感想

僕は今水泳をやっていますが、ちょっと他の人との差が大きくなってしまったぐらいで、すぐ落ち込んでいました。しかし、今回の話を聞いて、身体が不自由な人でも、そこであきらめずに前向きに進んでいく生き方を学び、差が大きいためすぐあきらめるのではなく、「これからこうしよう」と前向きな生き方で生きて水泳をもっと楽しもうと思いました。考え方を換え、障がい者の人と共に生きていきたいと思いました。今回は本当にありがとうございました。2年後のパラリンピック頑張ってください。(1年生男子)

私はこの田中照代さんの講話を聞いて、すごく照代さんが真っすぐに人生を見つめながら生きていることが分かりました。どんな壁にぶつかっても諦めずに努力して、また1から始めてみることや、次へのチャンスとして努力を積み重ねていて、自分に負けずに頑張る姿がすごいと思いました。また、車いすだからという言い訳をせずに、何でも挑戦していける姿や自分をアピールすることによって、誰でも分かるようにすることが大切だと言ってみえたのが、照代さんの心の強さだと思いました。(2年女子)

私は、今回の講話を聞いて「前向きに生きること」の大切さを知りました。私は、失敗してしまったとき、すぐに落ち込んでしまうけど、今後は、その失敗をバネにして諦めず、次のことにつながるように頑張りたいです。正直今まで、車いすに乗っている方や体が

不自由な方を身近に感じることができず、遠くに感じていましたが、今回の講話を通して、とても身近に感じることができました。日常生活の中で、身体が不自由な方が困っていたら助けたいと思っし、そのような人のためになることを進んでしていきたいと思っし。パラリンピックも見てみたいし、たくさん応援したいです。(3年女子)

2010年(平成22年)10月2

生徒に競技用車いすの乗り方を教える田中照代さん
 土岐市泉町大富泉中学校



「自信持てる自分を」

車いす陸上 中学生にエール
 田中さん

土岐市

土岐市出身でパラリメタル、2000年の
 ンピック車いす陸上競 シドニーでは3種目で
 技メタリストの田中照 銀メタル、08年の北京
 代さん(59) 名古屋市 で銅メタルを獲得し
 が23日、土岐市泉町 た。

大富の泉中学校で講演 「私の生き方」と題
 し、生徒に「自信が持て した講演では、四肢に
 の自分をづくり、人生 まひがあることや、東
 のメタルを取ってほし 京パラリンピックでの
 いとエールを送った。 メタル獲得を目標に練
 田中さんは頸椎を損 習を重ねていることを
 傷して車いす生活にな 紹介。「スポーツも勉
 り、20代後半で車いす 強も同じ。目標がある
 の陸上競技を始めた。 から頑張れる。前を向
 1996年のアトラン いて進んでいってほし
 タパラリンピックで金 「と語り掛けた。い

じめにあった経験も明
 かし「相手の気持ちを
 考え、思いやりの心を
 大切にしてほしい」と
 説いた。

生徒たちは競技用の
 車いすに乗ったり、メ
 タルに触らせてもらっ
 たりして、障害者スポ
 ーツへの理解を深めて
 いた。1年後藤陽菜さ
 ん(12)は「競技用車い
 すは骨盤の部分が狭か
 ったが、面白かった。
 前向きに生きるといっ

言葉が心に残った」と
 話した。
 講演会は、国が推進
 するオリンピック・パ
 ラリンピックムーブメ
 ント全国展開事業。全
 校生徒約460人が参
 加した。(野中準二)

■成果

講演会に向けて事前学習を行うことで、講演会に興味をもって参加することができた。そのため、障がい者スポーツへの興味関心を高めることができた。また、講演内容において、障がい者理解についても触れていただいたため、インクルーシブな社会をつくることの大切さを学ぶよい機会になった。

<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>■ひびき合いの取り組みの一環として実施したため、保護者とも共通理解を図りたいと考え、保護者向けの案内を作成した。</p> <div data-bbox="909 100 1316 515" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2020年 オリンピック・パラリンピックムーブメント 車椅子ランナー 田中照代さんをお招きして</p> <p>〒112-8554 東京都荒川区西日暮里 泉中学校PTA</p> <p>10月23日(火) 泉中講演会</p> <p>開 場 午後2時05分～ 講演会 午後2時35分～ 会 場 泉中学校・体育館にて 駐車場 泉中学校・サブグラウンド 講 師 田中 照代 氏</p>  <p>～PT・プロフィールより～</p> <p>1983年岐阜県土岐市生まれ 1998年に会に入社、入社1年目に卒業、障害を克服し、障害が残り車椅子生活になり、リハビリのあつことバスケが第一歩を踏み出す。 あいつの健作が奇蹟なる為、スラロームをやり始め車椅子競技にのめり込み、今に至るまで続いています。</p> </div>
<p>8主な課題等</p>	<p>■講演会を行うことで、一時の興味関心を高めることにはつながったが、この興味関心をさらに継続的に高めていけるような取組（学習）が必要である。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>■毎年、人権学習としてひびきあい週間を設けて指導している。インクルーシブ社会について考える機会として継続して指導していく。</p>